

# こども環境学会の活動

## 1. 大会および国際シンポジウム

2004年5月の設立大会以来、毎年4月末に大会・国際シンポジウムを開催し、こどもの環境改善へ向けての提言を発表。参加者は、約1,000~1,500人で、全国から研究者や実践者が集まり、地域のこどもたちも参加します。

### 2004年設立大会「こどもと環境：都市化の中のこどもたち」

ロジャー・ハート（ニューヨーク市立大学）、ロビン・ムーア（ノースカロライナ州立大学）ほか。



### 第2回2005大会（東京）「こどもの安全と健康のための環境」

【提言】1. 公園へのプレイ・ファシリテーター（屋外活動支援員）の配置。2. こどものあそび空間、地域コミュニティ空間としての道。3. こどもの育成にふさわしい住環境。4. 学校を拠点とした地域コミュニティ活動。5. こどもを過剰な情報刺激から保護。

### 第3回2006大会（関西）「こどもと自然」



【提言】1. 地域に根ざした身近な自然体験。2. 自然のすばらしさと怖さを理解。3. 自然の中での“名のない遊び”を大切に。

### 第4回2007大会（横浜）「こども・まち・おとな」

【提言】1. こどもが群れて遊べる都市（まち）。2. こどもとおとなが共に暮らせる都市（まち）。3. こども、家族に優しい都市（まち）。

### 第5回2008大会（東海）「こどものまなざしで」



【提言】1. こどもと夢を語ろう。2. おとながいっしょにあそぼう。3. こどものまなざしと個性を尊重。4. 在日外国人のこども環境をより良く。5. こどもが自由に遊べる環境を保障。

### 第6回2009大会（千葉）「こどもの力」



【提言】1. こどもの力を信じる。2. 大人はこどものドリームメーカー。3. こどもは未来社会を確実にするためのパートナーとしての意識啓発に努めること。ほか全12項。

### 第7回2010大会（広島）「感性のこどもたち」

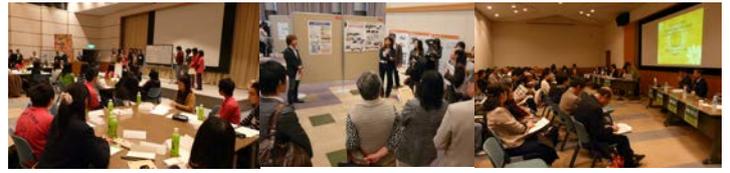
【提言】1. 環境というキャンパスに未来を描こう。2. 身のまわりの体験を語り合おう。3. 大人自身が感性をみがこう。4. こどもを見守る技術を。5. 未来の平和に向けて語り継ごう。

### 「子どもたちに支援を！緊急集会」+2011東京集会

第8回2011年大会（東京）は、2011年3月11日に発生した東日本大震災のため中止し、「子どもたちに支援を！緊急集会」を4月23日に開催し、2011年度集会（東京）を12月11日に開催。

### 第9回2012仙台大会「復興再生：

子ども参画による子どもに優しいまちづくり」



【提言】1. 一人のアイデアから。2. こどもの役割；意見を言う、大人の役割；子どもの声を聴く。3. 計画から実行へ。4. 地域資源を見出し、環境価値を高める。5. たくましく生き抜く力（レジリエンス）を育てる。6. こどもが「今」を生きる時間を大切に。

### 第10回2013大会（東京）「こどものコミュニティカ」

【提言】1大人が遊び心を。2楽しいまちづくり。3プレイストーリー。4新しい試みに挑戦。5子どもが他者と関わる場。6コミュニティカを広げる空間。7社会制度への発言。8大人が変革の風を。

### 第11回2014大会（京都）「こどもと歴史・伝統」

日本の伝統文化の何を「未来につなげて」ゆくのかをテーマに開催。

### 第12回2015大会（福島）「子どもが元気に育つ復興まちづくり」

震災4年が経過した福島で、子どもの視点での復興をテーマに開催。

### 第13回2016大会（富山）「こどもと地域力」

子ども・若者の成長を支える「地域の力」をテーマに開催。

### 第14回2017大会（北海道）「遊びで育つこどもたち」

遊びを含むさまざまな体験の場の大切さ「遊びで育つこどもたち」をテーマに開催。



### 第15回2018大会（埼玉）「こどもは未来」

こどもたちが、今現在を精いっぱい生き抜き、未来へとその力をつなぐ「こどもは未来」をテーマに開催。

### 第16回2019大会（九州）「こどもにやさしいまちの居場所」

何がまちのやさしさであり、どのような居場所こそが必要なのかについて「こどもにやさしいまちの居場所」をテーマに開催。



## 2. セミナーおよびシンポジウム等

「こども環境学セミナー」などこども環境に関わるシンポジウムや講演会を開催しています。会員外の参加も可能です。



### 3. 研究会等活動

こども環境研究会北海道、北陸こども環境研究会、こども環境研究会関東、東海こども環境研究会、こども環境研究会関西の地方研究会の他に、発達障害と生活環境を考える会、情育環境研究会、困難をかかえる子どもへの支援研究会が設置されています。



### 4. こども環境学会賞

こども環境に関する優れた研究、デザイン、活動、自治体施策などを顕彰いたします。論文・著作賞、デザイン賞、活動賞、自治体施策の4部門。入会と同時にご応募もいただけます。ぜひご応募ください。



### 5. こども環境アドバイザー資格講習会

毎年全国から集まった参加者がともに学び、交流する場となっています。こども環境に携わっている方、これから積極的に活動していきたい方など、多くの会員の参加をお待ちしております。



### 6. 委員会活動

以下の委員会活動を中心に学会の事業活動を展開しています。総務、学術・研究、情報管理、こども第一運動実行、学会誌編集、出版、企画、セミナー、資格認定、国際、顕彰、地方など

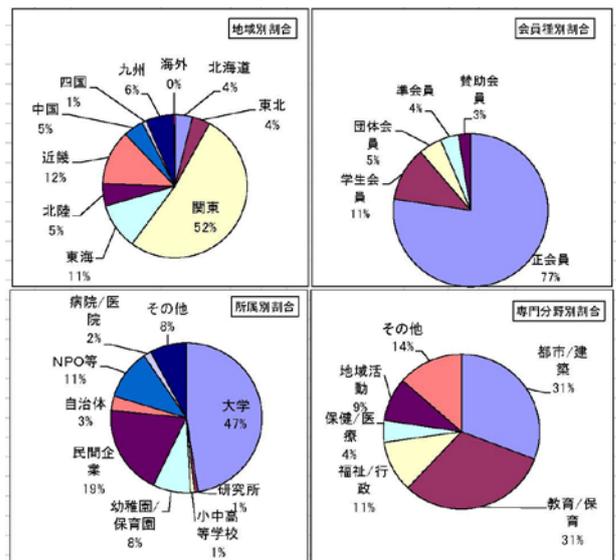
### 7. 学会誌の発行

学会誌・論文集「こども環境学研究」年3回発行。学術資料と時事の話題や活動報告などをあわせ、研究者と実践者の両方にお読みいただけます。学術論文を随時受け付け、査読後掲載。一般投稿記事も募集しています。会員外の購読も受付けます。



### 会員の概況について

2019年4月15日現在の会員数は1,016人です。地域別では関東の方が53%ですが広く全国の方々がご参加されています。所属別では、大学・研究所が48%、民間企業が19%、学校（小中高등학교や幼稚園・保育園）が9%、NPO等活動団体が11%、自治体が3%などです。専門分野別では、都市・建築関係31%、教育・保育関係31%、福祉・行政関係が11%、地域活動関係9%、保健・医療関係5%などです。多様な方々の参加する学会であり、学際性や多様性を活用しハードからソフトにいたるあらゆる面で「こどものためのよりよい環境づくり」に向けて活動しております。ご入会手続きはホームページよりお願いします。



### 2019年度 役員

代表理事：仙田 満（東京工業大学 名誉教授）  
 会 長：五十嵐 隆（国立成育医療研究センター 理事長）  
 副 会 長：神谷 明宏（聖徳大学 准教授）  
 木下 勇（千葉大学大学院 教授）  
 中島 興世（子育てと教育を考える首長の会 事務局長）  
 吉永 真理（昭和薬科大学 教授）  
 理 事：小澤 紀美子（東京学芸大学 名誉教授、東海大学大学院 客員教授）  
 福岡 孝純（日本女子体育大学 招聘教授）  
 松本 直司（名古屋工業大学 名誉教授）  
 大豆生田 啓友（玉川大学教授）  
 小柴 満美子（山口大学大学院准教授）  
 佐久間 治（九州工業大学教授）  
 高木 真人（京都工芸繊維大学准教授）  
 渡邊 英則（渡辺学園理事長・ゆうゆうのもり幼稚園園長）  
 専務理事：中山 豊  
 監 事：宇久田 進治（宇久田会計事務所 所長）  
 河原 啓二（福島県南保健福祉事務所所長）  
 高橋 勝（横浜国立大学名誉教授）

### 2019年度 代議員

織田正昭、神谷明宏、北方美穂、佐藤将之、四釜喜愛、島田隆道、仙田考、高木真人、高橋勝、谷本都栄、玉田雅己、富樫豊、仲綾子、中川千鶴、中島興世、増田剛、松本直司、三木祐子、宮本照嗣、三輪律江、吉永真理（以上21名、50音順）